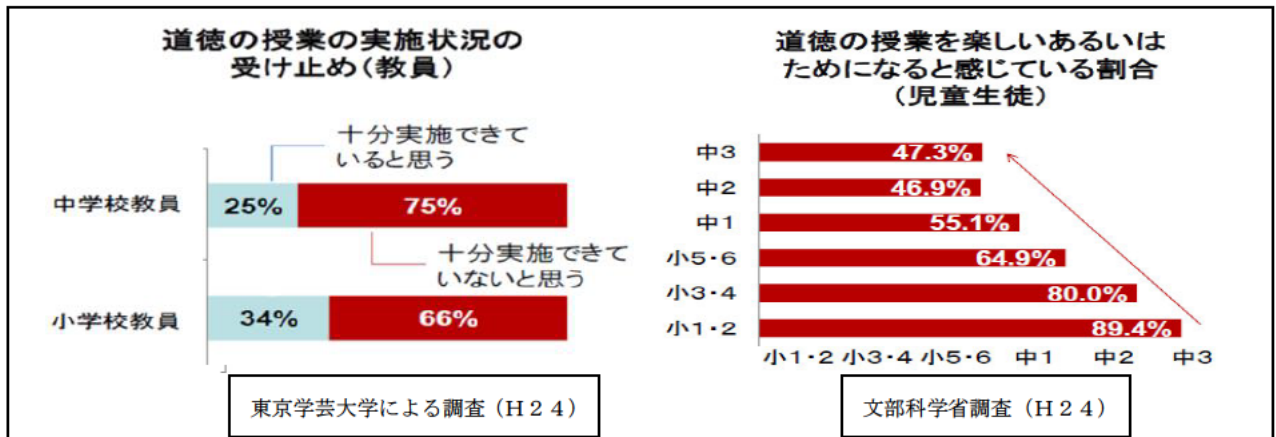


道徳教育について

I. 道徳の教科化

1. 教科化までの経緯

- 道徳教育については、これまで小中学校において、「道徳の時間」として、「わたしたちの道徳（文部科学省）」などの資料集を活用しながら行われてきました。
- 本県では、道徳教育の一層の充実を図るため、「わたしたち道徳」とともに「三重県 心のノート」を活用し、郷土の伝統文化や先人の偉業等を題材としながら、子どもたちが郷土を大切に作る心や生命尊重、規範意識等を高めるよう取り組んできました。
- 平成21年度からは、各学校において、全教師が協力して道徳教育を推進するため、道徳教育の推進を主に担当する教員（道徳教育推進教師）が位置付けられました。
- 一方で、読み物教材の登場人物の心情理解に終始してしまう場合があったことなどから、道徳教育のねらいがより効果的に実現されるよう改善を図ること、また、いじめの問題への対応といった困難な問題に、児童生徒が対処できる力を育成していく上で、道徳教育も役割を果たすことが重要であること、などが中央教育審議会で答申されました。



2. 「特別の教科 道徳」がめざすもの

- 教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を踏まえ、平成27年3月27日、学習指導要領の一部を改正し、「道徳の時間」を「特別の教科 道徳（道徳科）」とし、道徳科に教科書を導入することで、道徳教育の理念を教員が共有し、教科書を活用した授業を確実に実施することとされました。

<「特別の教科 道徳」の具体的なポイント>

- ・教科書を導入することで、「答えが一つではない課題に子どもたちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳への転換を図る。
- ・自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、多面的・多角的に物事を考えること。
- ・内容を、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善。
- ・問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫。
- ・数値評価ではなく、児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握。

II. 本県の取組

1. 昨年度まで県の主な取組について

特別の教科道徳の趣旨を踏まえた授業を実施するためには、特に「考え、議論する道徳」への質的転換及び適切な評価が重要であり、これらを実現するため、以下の点について取り組んできました。

(1) 道徳教育推進委員会の開催

新学習指導要領における道徳教育についての趣旨をふまえながら、三重県全体で道徳教育を推進するため、平成27年度から県内外の有識者等から意見を聴取しています。

平成27年度

- ・本県の道徳教育の課題について

平成28年度

- (第1回)・生命を大切にする教育について
- (第2回)・自尊心・自己肯定感(自己有用感を含む)を高める道徳教育について

平成29年度

- (第1回)・「考え、議論する道徳」の授業の充実のためにどのように取り組むべきか
 - ・学校、地域、家庭が一体となった道徳教育の推進について、家庭の自主性を尊重しつつ、学校の取組への理解と協力を得るために、どのように取り組むべきか
- (第2回)・桑名市立星見ヶ丘小学校授業参観
 - ・今求められる道徳科の授業について

平成30年度

- (第1回)・津市立倭小学校授業参観
 - ・「特別の教科 道徳」の授業にどう取り組むか

(2) 校長を中心とした学校の組織的な取組の推進

各学校において、校長がリーダーシップを発揮し、学校全体の取組となるよう、平成28年度及び平成29年度、全公立小中学校校長を対象とした「公立小中学校等校長研修会」において、専門家の講演や県内道徳教育実践推進校による先進事例の発表等を行いました。

(3) 「考え、議論する道徳」の実施に向けた取組

○道徳教育の指導計画の作成などの指導体制の充実

県内5か所で、全小中学校の教務担当者(各学校で教育課程等を総合的な立場から指導する教員)を対象に、「小中学校等教務担当者会議」を開催し、新学習指導要領に対応した計画の作成などについて説明しました。

○「考え、議論する道徳」の趣旨を踏まえた内容の周知

主として学級の児童生徒を理解している学級担任が、新学習指導要領を適切に理解し、指導や評価が行えるよう、市町教育委員会の道徳教育担当者、小中学校教員等を対象とした「道徳教育推進会議」において、専門家の講演等や実践発表を実施しました。

また、「研修講座」や、「授業実践研修(初任者研修、教職6年次研修及び中堅教諭等資質向上研修Ⅰの対象教諭で、校種別・教科別に10名程度の研修班を編成し、相互研鑽による授業研究を行う)」等、小中学校教員等を対象とした研修を実施しました。

道徳教育推進会議

平成28年度

第1回 平成28年9月23日(金)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、実践推進校の道徳教育推進教師等、計28名

【内容】

- ①「平成28年度道徳教育指導者養成研修(中央研修)」の還流報告
- ②第1回道徳教育推進委員会の報告
- ③講演：道徳の教科化と道徳科の授業構想
- ④グループ討議
 - ・道徳教育推進のための取組について
 - ・「考え、議論する道徳」をめざした授業づくりについて

第2回 平成29年1月16日(月)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、実践推進校の道徳教育推進教師等、計40名

【内容】

- ①実践推進校からの報告
 - ・桑名市立星見ヶ丘小学校 ・四日市市立大池中学校 ・県立桑名北高等学校
- ②グループ協議
 - ・小中高のそれぞれの発達段階において取り組む道徳教育について
 - ・生命を大切に教育について
- ③指導・講評
 - ・これからの道徳教育～質の高い学習指導と評価について

平成29年度

第1回 平成29年6月13日(火)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、道徳教育推進教師等、計57名

【内容】

- ①講演：道徳科の授業づくりとその評価
- ②グループ協議
 - ・「考え、議論する道徳」の授業づくりに向けた、各市町の年間指導計画等について
 - ・児童生徒の自己肯定感を高めるために効果があった取組について

第2回 平成30年2月5日(月)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、道徳教育推進教師等、計70名

【内容】

- ①実践推進校からの報告
 - ・四日市市立大池中学校 ・鳥羽市立弘道小学校 ・桑名市立星見ヶ丘小学校
- ②グループ協議
 - ・「特別の教科 道徳」の実施に向けた各市町の取組の交流
- ③指導・講評
 - ・『特別の教科 道徳』における授業づくりと評価

研修講座

平成28年度

【講座名】「道徳教育推進講座」7月29日 13:30～16:30

【参加者】小中学校教員52名、高等学校教員2名、特別支援学校2名、計56名

【内容】講義・演習：「子どもの心に響く道徳授業づくり」

平成29年度

【講座名】「授業づくり」8月18日 13:45～16:45

【参加者】小中学校教員65名、特別支援学校5名、計70名

【内容】講義・演習：『特別の教科 道徳』の授業づくり

授業実践研修

平成28年度

「特別の教科 道徳」の授業づくりに関わる研修班は、「小道1班」「小道2班」の2班

・小道1班（小学校7名）： 8月4日、10月4日、1月17日

・小道2班（小学校7名）：7月29日、11月8日、2月21日

また、上記のうち、研修班の希望により助言者を招聘。

日程…平成29年1月17日

内容…公開授業における授業研究での助言

平成29年度

「特別の教科 道徳」の授業づくりに関わる研修班は、「小道1班」「小道2班」の2班

・小道1班（小学校7名）：7月28日、9月19日、2月13日

・小道2班（小学校7名）：7月28日、11月14日、12月5日

また、上記のうち、研修班の希望により助言者を招聘。

日程…平成29年12月5日

内容…公開授業における授業研究での助言

(4) 実践事例の研究・普及

国の事業を活用して、実践推進地域等を指定し、市町教育委員会と連携して先進事例となる研究を進め、道徳科の公開授業研究会や道徳教育推進会議等において、事例や成果等について普及を行いました。

実践推進校等の指定

平成28年度

・桑名市立星見ヶ丘小学校 ・四日市市立大池中学校 ・鳥羽市立加茂中学校

平成29年度

・桑名市立星見ヶ丘小学校 ・四日市市立大池中学校 ・鳥羽市立弘道小学校 ・名張市

2. 課題

(1) 道徳科の特徴やねらいを踏まえた的確な指導

○本年2月に全小中学校を対象に行った調査では、「ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る発問を計画的に取り入れたか。」や「学んだ道徳的価値を基に自分を振り返る活動を計画的に取り入れたか。」という質問に対する肯定的な回答が小中学校ともに約9割程度となっていますが、「よく行った」は、小学校で33.3%、中学校では19.5%となっています。

「道徳の時間の授業の中で、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る発問等を計画的に取り入れたか。」

よく行った 33.3%(小) 19.5%(中) どちらかといえば行った 65.0%(小) 66.9%(中)

あまり行っていない 1.7%(小) 13.6%(中) まったく行っていない 0.0%(小) 0.0%(中)

「道徳の時間の授業の中で、学んだ道徳的価値を基に自分を振り返る活動を計画的に取り入れたか。」

よく行った 36.4%(小) 23.4%(中) どちらかといえば行った 62.2%(小) 63.0%(中)

あまり行っていない 1.4%(小) 13.6%(中) まったく行っていない 0.0%(小) 0.0%(中)

「道徳教育に係る調査」(H30年2月実施。県内全公立小中学校等を対象)

○道徳教育推進会議等において、教員から「ねらいに沿った、子どもの心を揺さぶる発問をどのようにすればよいのか」、「具体的な評価方法の工夫や留意点について知りたい」等の声があります。道徳科の特徴を踏まえた、より具体的な授業の指導方法について、教員にさらに理解を深める取組を進める必要があります。

※道徳科の主な特徴（学習指導要領解説 特別の教科道徳から）

- ・ねらいとする内容項目を、よりよく生きるために大切なことであると理解すること
- ・大切ではあってもなかなか実現することができない人間の弱さを理解すること
- ・感じ方や考え方は一つではなく、多様であることを前提として理解すること
- ・自分の問題として振り返り、自己の生き方について考えを深められるようにすること

<指導主事および教員の声>

①成果

- ・授業の事後研究では、「考え議論する授業であったか」を活発に討議している。
- ・道徳教育について教職員全員で改めて確認し、授業の見直しを図る学校が多くみられる。
- ・計画的に年間35時間実施しようという意識が向上している。

②課題

- ・「考え議論する道徳」イメージの共有化を図る必要がある。
- ・押し付けにならないように価値理解、人間理解、他者理解、自己理解の理解をどう深めていけばよいか、さらに研修を深めたい。
- ・教材の読み取りに終始してしまったり、説諭による道徳的価値観の押し付けをしたりなどの域から脱していない指導が散見される。
- ・子どもの心を揺さぶる発問を創造する必要がある。
- ・振り返りシートなど評価につながる記録物をさらに工夫・改善したい。
- ・評価について概要は理解できているが、具体的な記述内容について悩んでいる。

「道徳教育推進会議アンケート」（平成30年7月実施）

○中学校においては、来年度の教科化を見据え、教科書を活用した道徳科の授業に円滑に移行できるための取組が必要です。

(2) 計画的に道徳教育を行うための指導計画の作成・見直し

学習指導要領において、各学校で、道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成するものとするとしており、県内全ての小中学校で道徳教育の全体計画及び年間指導計画が作成されています。

また、学習指導要領解説には、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容等を整理したものや、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを示したものを別葉にして加えるなどの工夫が望まれる、とあり、作成率については75.3%となっています。

| | 小学校 | 中学校 | 小中計 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 「全体計画」 | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 「全体計画」の別葉 | 77.6% | 70.1% | 75.3% |
| 年間指導計画 | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

（「三重県道徳教育推進状況調査」H30年2月実施）

3. 平成30年度の主な取組

(1) 道徳教育アドバイザーの派遣による指導方法等の改善

今年度の新たな取組として、2名の道徳教育アドバイザーを学校等へ派遣し、学校の教育活動全体で道徳教育を行うための体制整備の在り方や、「考え、議論する道徳」の授業の効果的な指導方法、評価方法等について具体的な指導助言を行っています。

また、アドバイザーの模擬授業や派遣した学校の授業等を公開し、研究協議の場に、より多くの教員が参加することで、県内全体で「考え、議論する道徳」の推進に取り組んでいます。

道徳教育アドバイザー

- ・河合 宜昌…岐阜聖徳学園大学非常勤講師（三重県道徳教育推進委員）

※文部科学省道徳資料「私たちの道徳」作成委員

- ・柴田 八重子…愛知淑徳大学非常勤講師

※H20年6月小学校学習指導要領解説道徳編作成協力者

(派遣実績) 小学校7校11回、中学校8校16回、他2回 計29回(10月末時点)

(派遣先) 桑名市立大成小学校、いなべ市立丹生川小学校、鈴鹿市立旭が丘小学校、津市立倭小学校、松阪市立中原小学校、玉城町立田丸小学校、玉城町立有田小学校、鈴鹿市立天栄中学校、津市立西橋内中学校、津市立南郊中学校、津市立一身田中学校、津市立久居東中学校、伊賀市立城東中学校、松阪市立殿町中学校、熊野市立木本中学校、鈴鹿市立白子中学校区、鈴鹿市教育委員会

(2) 実践事例の研究・普及

国の事業を活用した取組については、今年度は4市と連携して研究を進め、事例や成果等について普及を行います。

<研究推進地域>

桑名市…桑名市道徳教育推進会議を設置し、道徳の本質に即した道徳教育が平成31年度から全中学校で展開できることをめざす。

四日市市…道徳科の公開授業研究会を実施する学校を、羽津小学校、桜中学校とし、同研究会の実施により各学校が授業づくり等を学ぶ。

鳥羽市…加茂中学校、長岡中学校、弘道小学校を実践推進校として指定し、道徳科の特質を生かした授業の充実を図る。

名張市…各学校の実態や課題等に応じた道徳教育推進教師を中心とした学校体制を構築し、指導方法の工夫を図り質の高い授業をめざして取り組む。

(3) 小学校、中学校の課題に対応した研修等の開催

小、中学校それぞれの発達段階に応じた指導方法について研修を深めるため、今年度は、アドバイザーによる小中学校それぞれの学校での指導をもとにした道徳教育推進会議を3回開催(昨年度までは2回開催)するとともに、研修講座や授業実践研修を拡充して実施しています。

道徳教育推進会議

第1回 7月5日(木)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、小学校の道徳教育推進教師等、計59名

【内容】

- ・道徳教育指導者養成研修の情報提供
- ・小学校での、教科書を活用した指導方法や評価方法について
※道徳教育アドバイザー河合宣昌先生による道徳科の指導方法と評価について模擬授業を交えた講演

第2回 11月2日(金)

【参加者】各市町等教育委員会指導主事、中学校の道徳教育推進教師等、計56名

【内容】

- ・中学校での、教科化を見据えた指導方法の工夫等について
※道徳教育アドバイザー河合宣昌先生による中学校における道徳の授業の指導方法とその評価についての講演

第3回 1月15日(火)…開催予定

【参加者】各市町等教育委員会指導主事等

【内容】

- ・県内4市の道徳教育実践推進校等による取組報告および協議
- ・元文部科学省教科調査官による小中学校での道徳科の指導方法と評価についての指導・助言

研修講座

【講座名】「授業づくり(道徳)」7月31日 13:30~16:30

【参加者】小中学校教員78名、特別支援学校3名、市町教育委員会3名、教職大学院2名
計86名

【内容】講義・演習：『特別の教科 道徳』の授業づくりと評価の在り方

授業実践研修

※「特別の教科 道徳」の授業づくりに関わる研修班は、「小道1班」「小道2班」「小道3班」の3班

- ・小道1班(小学校7名):7月31日、11月6日、2月12日
- ・小道2班(小学校7名):7月31日、11月6日、12月11日
- ・小道3班(小学校8名):7月27日、10月9日、2月5日

※また、上記のうち、研修班の希望により助言者を招聘。

日程…平成31年2月5日

内容…公開授業における授業研究での助言

道徳教育に関わるネットDE研修

①番組名:『特別の教科 道徳』の授業づくり」

講師:京都産業大学 教授 柴原 弘志

②番組名:「志高く今を熱く生きる子どもたちの育成」

講師:昭和女子大学大学院 教授 押谷 由夫

③番組名:「道徳研修ーモラルジレンマを活用した道徳授業づくりのコツー」

講師:兵庫教育大学 荒木 紀幸